



9月定例会の報告

9月13日から10月6日までの日程で定例会が開かれ、252億円の補正予算（国の補助金等の変動や緊急でやむを得ない場合に追加、その他の変更を行うもの）の中身を審議し、決議しました。その一部を紹介します。

1. 県民生活・県経済への影響の最小化 55億円

① エネルギー価格高騰に
対する事業者支援 40.8億円

国の支援の対象外の特別高圧受電契約事業者、LPGガス利用事業者への県独自の緊急支援

② 農業者に対する支援 2.8億円

肥料価格の高騰、生産コストの上昇が長期化して経営状況が悪化しているため、経営安定化のための支援

3. 梅雨前線、豪雨などによる災害からの復旧 119億円

7月3日、県内に線状降水帯が2度発生し上益城郡はじめ各地で公共土木施設や農林水産関連施設等の被害が多発しました。早急に工事に着手して速やかな復旧を図る。

① 公共土木施設の復旧 98.5億円

② 農林水産関連施設の復旧 20.5億円

2. 県経済や県民生活の回復 4.7億円

物流の2024年問題への対応 68百万円

来年4月からトラック運転手に時間外労働の上限規制が適用され、農林水産物は輸送能力不足が起る恐れがある。消費者や取引先の理解促進、物流の効率化による持続可能な物流体系の構築が急務。

① 産地出荷体制の機能強化
強化に向けた話し合いの場作りやパレット等の資材の導入に対する支援

② 輸送体制実証定着支援
出荷体制を構築するための実証調査に対する支援

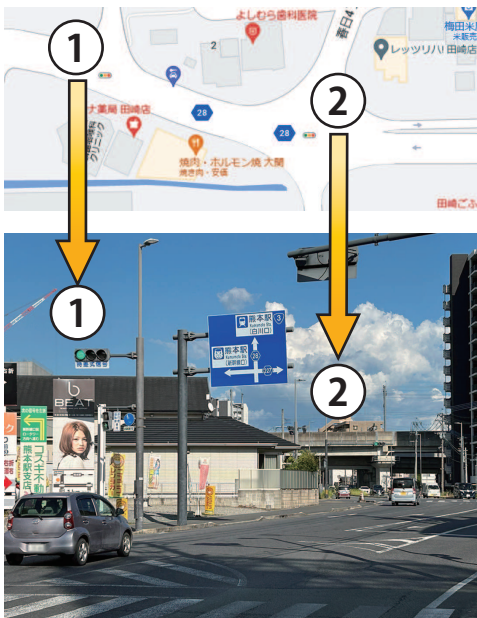
田崎市場 渋滞緩和について

春先、田崎市場の企業から「朝セリを終えて熊本高森線に出ようとすると道路が渋滞して、新鮮な青果物や鮮魚を届先に一刻も早く届けたいのに毎日やきもきしている。何とか解消できないか？」との相談を受けました。

早速関係機関に調査を依頼しました。その結果、浮かび上がったのは市場から熊本駅方面に向かって地図①の信号が青に変わっても②の信号が赤のため、スムーズな流れを阻害しているとのことでした。

そこで7月、①と②の信号機が同時に青になるように調整改良しました。

もちろんこれで渋滞が全て解消したわけではありませんが、「以前に比べたら」との声もいただきました。引き続き真摯に対応してまいります。





富合町 木原川について

勇退された朽木信哉先生（元熊本市議）が現役時代、木原川の件でたびたび相談を頂戴しました。雁回山から木原地区を流れて県道38号線に至る木原川は、傾斜があり川幅も狭いことから大雨になるとその度に住民もヒヤヒヤするので、改修を早急に進めてもらいたいという内容でした。

木原川はこれまで平成15～27年にかけて2箇所、令和3年に1箇所、砂防事業として流れをスムーズにするために川幅を拡張してきました。

そして今回7月7日～来年3月迄の工期で木原川のポトルネットともいえる『居屋敷1号橋』部分の工事が現在進行中です。この工事は

- ① 橋を新しく掛け替えて拡幅し道路を整備
- ② 橋の近辺の川幅を広げます。

今後、上流部分であると2箇所の工事が予定されていますが、引き続き関係機関とやり取りしながら進めてまいります。



ビール祭り



今年も厳しく暑い日が延々と続きました。その残暑の只中の9月2日、出仲間公民館で『第4回ビール祭り』を4年ぶりに開催しました。

開催にあたってはコロナが5類に移行して飲食を伴う会が再開してから、以前参加していた方々から「またやって欲しい」との要望が寄せられたからです。

コロナで外での飲食が制限され、私たちの生活スタイルも微妙に変化しました。またアルコール類も健康志向も手伝って種類も度数も豊富になりました。またビール自体の飲量も減少傾向にあります。また、酷暑を克服するにはビールは欠かせません。

当日は各種団体や医療・福祉施設等、住民生活を支えていただいている皆さんにお集まりいただきました。



日頃から顔を合わせる機会はあるものの、ゆっくりコミュニケーションをはかる時間はなかなか無いものです。それぞれ持ち寄ったツマミを食し生ビールを堪能しながら和気藹々の楽しいひと時を過ごしたのです。

